

日時：令和4年4月22日 7:00～8:00

会場：パシフィコ横浜ノース2階 G218 会議室 (Hybrid Meeting; Zoom 使用)

現地参加者(21名)；今釜史郎委員長 岩崎博 後迫宏紀 寒竹司 小林和克 重松英樹
高橋雅人 谷口慎一郎 橋本淳 藤原靖 船場真裕 町野正明 森戸伸治 安田明正 山田圭
山本直也 吉田剛 和田簡一郎 各委員 (敬称略)

黒須健太 各オブザーバー (敬称略)

安藤宗治 松山幸弘 各アドバイザー (敬称略)

Zoom 参加者(4名)；安藤圭 川端茂徳 田所伸朗 各委員 高谷恒範 アドバイザー (敬称略)

■議題1：脊椎脊髄病研修コースについて

・浜松医大 (吉田)

2022年4月23日(土) パシフィコ横浜会議センター3階にて第20回脊椎脊髄病研修コース第IVコース(モニタリング脊椎脊髄病研修コース、定員100名に100名の応募あり)を開催する。講義1. 脊髄モニタリング総論を川端茂徳先生、講義2. 運動系・感覚系モニタリング各論を高橋雅人先生、講義3. 脊椎脊髄手術モニタリングのアラームポイントと合併症対策を吉田剛先生が担当する。試験監督は安田明正先生と町野正明先生が担当する。3名の講師により30題の試験問題の選定を行い、安藤宗治先生にその内容を確認・修正頂いた。来年の試験問題選定時には岩崎博先生に確認して頂く予定。

■議題2：モニタリング認定医申請について

- ・脊椎脊髄病研修コースIV・試験後、昨年同様脊髄モニタリング認定医の申請期間を6月に設定予定。
- ・昨年同様、7月にWG委員2名1組のペアとなり申請書類の審査を行う予定。
- ・申請者が提出書類の内容を理解しやすいように、モニタリング波形所見レポート見本の見直しを行う。
- ・胸腰椎手術症例の波形所見レポートでは、上肢のコントロール波形が分かるものを提出頂くこととする。
- ・モニタリング波形所見レポートのコメント欄で、True Negative(真陰性)、True Positive(真陽性)、False Positive(偽陽性)、False Negative(偽陰性)の適正な判定を行って頂く。
- ・波形提出不可の機種の場合は、Amplitude の変化を示せるデータ提出(10例)と、モニタリングに関する論文1篇以上(自著・共著いずれでも可能、過去10年以内のもの)を提出頂くこととする。
- ・2022年秋の各施設での脊髄モニタリング・ハンズオンセミナー開催については未定、コロナ禍の状況を鑑み検討する。ハンズオンセミナーでの講義は事前に動画作成した資料をWGで共有し、各施設においてセミナー受講者へ聴講して頂く方針となった。

■議題3：モニタリング認定医資格継続の単位について

・日本臨床神経生理学会と日本脊髄機能診断学会の学会参加することで、脊髄モニタリングに関わる学術的知識、研究内容などを習得することができる。よって、この2学会の参加証をモニタリングワーキンググループの定める資格継続のための講義受講証明にできるものとする。2023年以降の日本脊椎脊髄病学会学術集会における認定医資格継続のための講義に関しては、今後JSSRプログラム委員会で講演の設定などについて検討して頂くこととなった。

■議題4：研究進捗

下記研究進捗があった。

- ・山口大（船場先生）

頚椎手術の MEP アラーム精度に影響を及ぼす因子→英語論文投稿中

- ・杏林大（高橋先生）

脊髄モニタリング False negative の検討 多機関共同研究 5,272 例の解析→学会発表予定

- ・名古屋大（町野先生）

胸椎後縦靭帯骨化症における術中脊髄モニタリング アラーム・レスキュー症例の特徴→学会発表予定

- ・久留米大（森戸先生）

小児側弯症矯正手術における術中脊髄モニタリング 多施設共同研究→学会発表予定

■その他：

- ・名古屋大（町野先生）

2022年2月5日（土）枚方市総合文化芸術センターにて、第43回日本脊髄機能診断学会学術集会（会長 今釜先生）を Web 開催した。多くの皆様にご参加頂き、盛会のうちに終了することが出来た。

- ・広島市立安佐市民病院（藤原先生）

モニタリングの波形低下率を色分けする技術を提示頂き、今後発展させていく予定。

- ・次回開催予定日：2022年6月17日（金）7時 Web Meeting で開催（認定医申請、研究進捗、症例検討など）